

基本目標 Ⅲ 人権の尊重と共生社会の推進

参考資料 1

分野8. 情報アクセシビリティの向上（意思疎通支援の充実）

(1) 「情報通信における情報アクセシビリティの向上」

事業番号	事業名	事業概要	平成28年度の実施状況	平成29年度の取組予定	数値目標	数値目標達成状況及び現状分析、今後の課題	他の分野別計画との関連性	所管課
159	情報・コミュニケーション支援事業	日常生活においてコミュニケーション支援が必要な障害のある人の社会参加や自立を促進するため、「障害福祉情報センター」を設置し、「障害者パソコンサポーター養成・派遣事業」の実施、「音声コード」及び「磁気ループ」の普及に努める。	<p>毎月「いべんとアラカルト」を発行するなど、障害のある人の社会参加に資する情報の収集と提供を行っています。</p> <p>障害者パソコンサポーター養成講座を平成29年2月～3月に開催しました。 (養成数：8名)</p> <p>障害者パソコンサポーターの派遣 666件 (H29.3月末パソコンサポーター登録人数：67名)</p> <p>福祉用具プラザで配付する視覚障害者用パンフレット、選挙の際の入場整理券(希望に応じ)、北九州市障害者支援計画概要版、人権啓発冊子に音声コードを添付しています。</p> <p>磁気ループについては、各区役所を窓口とし、広く市民向けに貸出を行っており、市役所全局に対しても、磁気ループ貸出制度と使用推進を周知しています。</p>	平成28年度と同様の取り組みを進めます。同障害者差別解消法が求める「合理的配慮」の取組み事例等も参考にするとともに、新たな技術・機器の開発の動向等を踏まえた支援策を検討していきます。	H26 パソコンサポーターの養成・登録 33人/年 H29 パソコンサポーターの養成 10人/年	パソコンサポーターは、概ね見込みどおり養成しています。情報通信技術の発展を十分に活用できるよう、情報収集に努める必要があります。		保健福祉局 障害者支援課

(2) 「障害者に配慮した情報提供の充実等」

事業番号	事業名	事業概要	平成28年度の実施状況	平成29年度の取組予定	数値目標	数値目標達成状況及び現状分析、今後の課題	他の分野別計画との関連性	所管課
160	視覚障害者情報提供施設運営事業	点字刊行物及び盲人用録音物の貸出及び閲覧事業、点訳・朗読奉仕員の養成事業、聴覚障害者用字幕入りビデオカセットの製作及び貸出事業、手話通訳者の派遣、情報機器の貸出等コミュニケーション支援事業などを通じて、視覚障害や聴覚障害のある人の福祉の増進を図ります。	<p>点字図書や聴覚障害者用字幕入りビデオカセット等の貸出を計画的に実施しています。</p> <p>利用者数 32,866人</p>	利用者の声を聞きながら着実に事業を実施します。	平成26年度 利用者 26,500人	施設のコムシティへの移転（平成25年4月）に伴い施設利用者数は増加しており、視覚障害者・聴覚障害者の利便性が向上していると考えられます。今後も、利用者数の着実な増加を図っていく必要があります。		保健福祉局 障害者支援課

基本目標 Ⅲ 人権の尊重と共生社会の推進

参考資料 1

分野8. 情報アクセシビリティの向上（意思疎通支援の充実）

(3) 「意思疎通支援の充実」

事業番号	事業名	事業概要	平成28年度の実施状況	平成29年度の取組予定	数値目標	数値目標達成状況及び現状分析、今後の課題	他の分野別計画との関連性	所管課
158	奉仕員等養成・派遣事業	視覚・聴覚に障害のある人のコミュニケーション等を支援する奉仕員等（手話通訳者、要約筆記者、点訳・朗読・手話奉仕員）の養成及び派遣を行います。	奉仕員等の養成及び派遣を計画的に実施しています。 点訳ボランティア養成講座修了者 7人 朗読ボランティア養成講座修了者 7人 手話奉仕員養成講座修了者：80名 要約筆記者養成講座修了者：6人 要約筆記者派遣数 213件 手話通訳者派遣数 2,952件	例年どおり、養成及び派遣を実施し、事業の着実な推進を図ります。	平成26年度 奉仕員養成数 140人/年 手話通訳者派遣数 3,256回/年 要約筆記者派遣数 361回/年 平成29年度 奉仕員養成数 155人/年 手話通訳者派遣数 4,102件/年 要約筆記者派遣数 265件/年 盲ろう者通訳・ガイドヘルパー派遣数 152件/年	【点訳】 平成28年度は、9名が受講し7名が修了しました。養成講座のみでは不十分なため、スキルアップのための講習会も実施しています。 【朗読】 平成28年度は、8名が受講し7名が修了しました。養成講座のみでは不十分なため、スキルアップのための講習会も実施しています。 【手話】 平成28年度は、95名が受講し80名が修了しました。受講者・修了者の拡大に向けて、引き続き事業の周知を行います。 【要約筆記（→要約筆記者）】 支援計画上の指標は要約筆記奉仕員の養成ですが、平成24年度から、法律の改正に伴い、要約筆記者の養成を2カ年（前期・後期）で実施し、平成26、27年度の2年間で8名が修了しました。平成28年度からは、受講者の確保のため養成期間を1年に変更して、7名が受講し6名が修了しました。引き続き事業の周知を行います。 【要約筆記者派遣】 派遣を要する難聴者等の参加者数減により団体利用・個人利用とも減少しましたが、依然として高いニーズがあると考えます。引き続き件数の増加に努めます。 【手話通訳者派遣】 平成28年度は派遣件数が減少しましたが、熊本地震への通訳者派遣や、通訳者の休職等での不在によるところが大きく、依然として高いニーズがあると考えます。引き続き件数の増加に努めます。		保健福祉局 障害者支援課
161	盲ろう者通訳・ガイドヘルパー養成・派遣事業	盲ろう者支援に関する講義や実技を行う講座を開催して、盲ろう者通訳・ガイドヘルパーを養成するとともに派遣を行い、コミュニケーション及び外出支援を行います。	盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの養成及び派遣を計画的に実施しています。 登録者数 当事者：14人 通訳・ガイドヘルパー：37人 通訳・ガイドヘルパー派遣件数：227件	例年通り、養成・研修及び派遣を行い、事業の着実な推進を図ります。	平成29年度 派遣件数 152件 養成人数 15人	平成28年度は、既登録者を対象としたレベルアップ講座を実施しました。修了者数の着実な増加を図る必要があります。		保健福祉局 障害者支援課

基本目標 Ⅲ 人権の尊重と共生社会の推進

参考資料 1

分野8. 情報アクセシビリティの向上（意思疎通支援の充実）

162	重度障害者入院時コミュニケーション支援事業【新規】	意思疎通を図ることが困難な重度障害のある人が医療機関に入院した場合に、コミュニケーション支援員を医療機関に派遣し、重度障害のある人と医療従事者との意思疎通を図り、円滑な医療行為を受けることができるように支援します。	派遣時間 216時間 利用者 2人	引き続き利用者のニーズを踏まえつつ、継続実施します。	---	一層の事業周知を図るなど、円滑な事業実施に努める必要があります。	保健福祉局 障害福祉企画課
-----	---------------------------	---	----------------------	----------------------------	-----	----------------------------------	------------------

(4) 「行政情報のアクセシビリティの向上」

事業番号	事業名	事業概要	平成28年度の実施状況	平成29年度の取組予定	数値目標	数値目標達成状況及び現状分析、今後の課題	他の分野別計画との関連性	所管課
70	市政だより・市政テレビ・ホームページを利用した市政情報の発信	市政情報の発信において、障害のある方への配慮を行います。 ○市政だより（点字版・音声版） ○市政テレビ（手話解説・字幕） ○ホームページ（閲覧支援ソフト（音声読み上げ・文字サイズ変更等））	【市政だより（点字版・音声版）】 （H29.3.15号時点） 点字版市政だより発行数：1,933部 声の市政だより発行数：2,454部 テキスト版市政だより発行数：501部 【市政テレビ（手話解説・字幕）】 （H29.3月末時点） 「北九州カフェ」 （手話＋字幕）52本 「旬感北九州」 （字幕）52本 【ホームページ閲覧支援ソフト】 （H29.3月末時点） 利用数（ビュー数）：46件	障害のある方に配慮した市政情報の発信や市政だよりやホームページ、テレビ・ラジオ等の広報媒体を活用した啓発・広報活動の推進に努めます。	---	今後も継続して実施する必要があります。	元気発進！ 子どもプラン	広報室広報課